

子供たちが夢を持って邁進できる環境整備を



桜田博幸 (明政一心会)

議員 子供たちのスポーツ、文化部門に助成するための基金をつくることはすばらしい取り組みであると思う。今回創設された「子ども夢チャレンジ基金」の具体的な運用方法は、
教育部長 当該基金は、市内小中学校やスポーツ少年団等の団体に所属し、市内に住所がある子供たちを対象に、全国大会や東北大会に出場する

場合の経費の一部を補助するものである。

交付基準は、中体連や小中学校の吹奏楽、合唱コンクールは、その大会に係る交通費と宿泊費の合計額の三分の一を補助し、開催地や団体、個人により上限を設定する。全国大会は、団体で五十万円、個人で二十万円。スポーツ少年団や小中学校の吹奏楽、合唱コンクール以外の文化活動等の全国大会は、開催地により定額補助とし、全国大会は団体で十万円、個人で一万円。ただし、いずれも全国大会が東北各県で開催された場合は、東北大会の基準となる。



全力でプレーする選手

TPP^{*}に対する市の方針のさらなるアピールを

議員 TPPについて、市の考えと対応は、

市長 TPPは農業を含む二十四項目に影響があり、農業を基幹産業とする当市では、関連産業を含め計り知れない打撃になるのではないかと強く心配している。このため、国の責任で国際化に対応できる競争力の強化に向けた明確な農業の将来展望の策定や、実効性のある効果的な具体策を示すことが先決であると考えている。拙速な判断ではなく、国民間での十分な議論がないまま、なし崩し的に交渉参加を決定することには反対の立場を取らざるを得ない。また、この旨は県市長会及び東北市長会を通じて昨年十二月に要望している。

今後とも国の動向を注視しながら、当市の農業振興につながる対処等を要望していきたい。

議員 医師の増員見込みはどうか。

また、ベッド数の削減は可能か。



ベッド数の削減は可能か

工藤正廣 (明政一心会)

病院事業管理者 平成二十三年度は初期研修医を六名採用する予定で、平成二十二年より二名ふえる。そのほかの医師は現在交渉中であり、医師確保に向けての努力を今後も継続していきたい。



中央病院の総合受付

病院事務局長 現在一般病床は三百二十五床のうち、本館には三百十五床あるが、入院患者数の増減や緊急時の対応もあることから一般病床への入院患者を一日平均二百六十人程度としている。これを確保していくためには、本館のリカバリー室八床、救急病床五床を含めて現状規模の病床数が必要なため、ベッド数削減は考えていない。

また、今後高齢者がさらに多くなり、痴呆やメンタルヘルス科病棟や緩和ケア病棟の必要性がさらに増してくると思われる。

今後の介護保険料は

議員 今後の介護保険料の見直しはどうなるか。

市長 厚生労働省は平成二十四年度からの第五期介護保険料を高齢化による自然増、介護報酬の

引き上げ、介護給付の見直し等により月額約七百元程度の引き上げ見込みを提示している。

当市の現状は、有料老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅が平成二十一年十二月の四百四十八床から平成二十二年十二月には四百七十五床に増加している。在宅介護受給者が老人ホーム等に入所することにより、訪問介護、訪問看護等の居宅サービスの利用度が高くなることとが介護保険料引き上げの一つの要因になると見込んでいる。このため平成二十四年度からの第五期介護保険料は、今後国や県の動向を見極めながら、当市の高齢者人口や要介護認定者数の推移、給付実績等の分析を綿密に行い、定めていきたい。

第一回定例会は、14人の議員から一般質問がありました。詳細については、十和田市ホームページをご覧ください。

紙面の都合上、各議員が指定した質問とその答弁を要約して掲載しています。

5 *1 TPP：環太平洋連携協定の略称。太平洋での自由貿易圏の構築を目指す環太平洋パートナーシップのことで、物品貿易についての関税を完全に撤廃することが原則となっている。